

平成 31 年度 静岡県老人福祉施設協議会

東部支部事業計画

(概 要)

今上天皇の御退位と、新年号のスタートを迎える今年は、わが国のみならず世界中で、従前の体制の大変動が予知され、イギリスの欧州連合脱退と欧州連合の弱体化、トランプ政権のアメリカ至上主義と米中経済摩擦の行方、南北朝鮮と極東アジア情勢・欧米とロシアの新冷戦構造の動態等、世界情勢は新たな緊張が広がっている。

従前の世界経済を牽引して来た新自由主義経済は、独占的な世界企業と富裕層の圧倒的富の集中を産み、所得格差の拡大と富の偏重を加速させ、先進諸国では中間層が貧困化し、購買力低下と経済収縮の懸念で世界経済に暗雲が広がり、難民排斥や国益優先の保護主義の急速な台頭は、第二次大戦前の様相に酷似する指摘もある。

この様な世界情勢の中、我が国は今年、全国参議院選挙と消費税率の 10%への引き上げを予定し、参議院選挙に全国老施協理事の「かくた充由 (みつよし) 氏」を擁立応援する事となった。一方、政府は少子高齢による人口減少と深刻な人手不足での経済収縮を避ける為に、働き方改革の更なる推進と外国人特定技能者在留資格の大幅改定をした。また、消費税率引き上げによる景気後退の懸念から、景気循環の経済刺激策として、全産業で賃金改善を目指す一方、働き方改革の要となる保育や介護の循環的支援を強化し、3歳児からの幼児教育無償化、慢性的な介護人材確保の為に、介護士の大幅な給与改善を織り込んでいる。

目まぐるしい時代の激変変遷の下、静岡県老施協東部支部は地域社会に貢献し続ける、持続可能な老人福祉施設を目指して、公益性を堅持しつつ良質なサービスを確保し、県老施協の諸活動と連動して、支部会員相互の情報の共有と連携を図り、本年度の活動として、以下の事業を実施する。

1. 会議の開催

- (1) 県老人福祉施設協議会の事業並びに各委員会の運営実施及び協力
- (2) 総会及び役員会の開催 (総会 7月・2月) (役員会 5月・7月・10月・2月)
- (3) 支部企画推進会議の開催 (県老協連携の推進及び支部企画)

2. 研修会

- (1) 施設長・職員研修会 (2月総会時・一泊研修)
- (2) 相互支援協定に基づく防災訓練の実施 (11月頃)
- (3) 施設長研修会 (7月総会時)

3. 事業活動

- (1) 関東ブロック研究大会の開催運営の推進
- (2) 圏域及び地区活動への支援助成 (各地区への研修・イベントへの助成)
- (3) 県老施協の活動との連携
- (4) その他

平成31年度 静岡県老人福祉施設協議会

東部支部 収支予算書

(収入の部)

(単位: 円)

科 目	A 当年度予算額	B 前年度予算額	A-B 増減額	内 容
助 成 金	200,000	200,000	0	県老施協より助成金(30年度実績)
会 費	955,000	930,000	25,000	定員50名以上 82施設×¥10,000=¥820,000 定員49名以下 27施設×¥ 5,000=¥135,000
負 担 金	460,000	460,000	0	当日徴収会費等(7月・2月) 研修会・交流会・宿泊代
雑 収 入	100	100	0	普通預金利息
繰 越 金	3,000,000	3,000,000	0	
収入合計	4,615,100	4,590,100	25,000	

(支出の部)

(単位: 円)

科 目	A 当年度予算額	B 前年度予算額	A-B 増減額	内 容
講 師 料	250,000	300,000	△ 50,000	研修講師への謝礼金
会 議 費	400,000	400,000	0	役員会4回開催、総会2回開催
研 修 費	850,000	850,000	0	研修2回開催
助 成 金	200,000	200,000	0	
通 信 費	70,000	70,000	0	事務連絡・会議資料送付費用
消耗品費	50,000	20,000	30,000	会議・研修・事務局事務消耗品費用
手 数 料	30,000	30,000	0	振込手数料等
雑 費	200,000	200,000	0	
予 備 費	2,565,100	2,520,100	45,000	
支出合計	4,615,100	4,590,100	25,000	